

第64号2013年9月

## ステロイド外用薬の使い方について



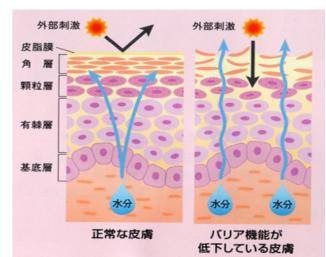
- ■ステロイドとは・・もともと人体の副腎というところで作られるホルモンで体の炎症を軽減し免疫のバランスを保つ働きがあります。 人工的に作られたステロイドを含むステロイド外用薬はアトピー性皮膚炎や種々の皮膚の炎症に効果があります。
- ■外用薬は・・薬物と基剤・添加物から出来ています。基剤によって剤形(軟膏・クリームローションゲル・テープなど)も異なり部位や皮膚の状態によって使い分けます。

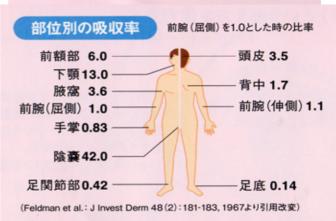
剤 形	特 徴	薬剤浸透性	刺激性	適応
軟 膏	•保護・保湿性に優れる	♠ 低	低	びらん面を含むあらゆる皮疹
クリーム	• 軟膏よりもさらりとした使用感	→高		乾燥面
ローション	•クリームよりもさらにさらりとした	使用感	→高	頭皮など

■ 皮膚の構造は・・外側から表皮・真皮・皮下組織に分かれますが、表皮は皮膚のバリア機能 (外部刺激からの保護や水分の保持)という重要な働きをしています。

ドライスキンなど、バリア機能が低下している皮膚は外部刺激を受けやすく、水分が逃げやすい状態となり、様々なスキントラブルになりますので、 日頃のスキンケアをしっかりすることが大切です。

- ■薬の吸収は・・体の部位によって違いがあります。皮膚のバリア機能の低下時(乾燥・炎症・びらん)、また乳幼児や高齢者は表皮の角層が薄いため皮膚の吸収率は高くなります。
- ステロイド外用薬の分類は・・作用の強さから 5



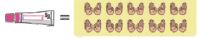


## 段階に分類されます。

強さ	主な商品名
ストロンゲスト(最強)	デルモベート ジフラール、ダイアコート
ベリーストロング (とても強い)	フルメタ、アンテベート、トプシム リンデロン DP、マイザー、ヒスダーム、パンデル、 ネリゾナ、テクスメテン
ストロング(強い)	エクラー、メサデルム、ボアラ、ザルックス、 ベトネベート、リンデロン V、 プロパデルム、フルコート
ミディアム(やや弱い)	ロコイド、リドメックス、レダコート、アルメタ、キンダ ベート、ロコルテン
ウイーク(弱い)	プレドニゾロン、コルテス

■ **正しい塗り方は・・**先生の指示に従い適切なランクの薬を正しい量をよくなるまでぬって 炎症をしっかり早く抑えることが大切です。





5点チューブ1本で、大人の手20核分に相当します。

塗る量の目安として、5mm口径のチューブから人差し指 の先端から第一関節の長さに搾り出した量(0.5g)を手 2 枚分の範囲にぬってください。

手のひらを使ってしわにそってやさしくに塗り伸ばしましょう。

## ■ 最後に・・副作用について

ステロイド外用薬には皮膚が薄くなる、毛細血管が目立つ、多毛などの副作用もあります。しかし、適切な強さのステロイド外用薬を適切な期間の使用にとどめることで、これらの副作用は回避することができますのでしっかりと主治医の指示に従って使用してください。

しいのみ薬局 関市上白金 105-1 **2**0575-27-0130 Fax 0575-27-0131 しいのみセンター薬局 岐阜市北山 1-14-27 **2**058-241-1818 Fax058-241-1839 華陽しいのみ薬局 岐阜市芥見南山 2-8-47 **2**058-244-2112 Fax058-244-2110

お薬や「健康食品」のことなどに関してお気軽にご相談下さい。

ファルマネットぎふ ホームページ(http://www.gifu-min.jp/pharma/)